

B-1 キャリアプログラム

キャリアプログラム (社会科 公民分野)

領域	領域説明	能力説明	社会科
人間関係形成能力	他者の個性を尊重し、自己の個性を発揮しながら、様々な人々とコミュニケーションを図り、協力・共同して物事に取り組む。	【自己の理解能力】 自己の理解を深め、他者の様々な個性を理解し、互いに認め合うことを大切にして行動していく能力	発表の場面では、他者の考えを理解し、互いに認め合う。「偏見や差別」では、偏見や差別が日常生活の中におこりやすいということに気づくことができる。
		【コミュニケーション能力】 多様な集団・組織の中でコミュニケーションや豊かな人間関係を築きながら、自己の成長を果たしていく能力	グループ活動では、互いに協力し、積極的に意見を交流しようとする。「ルールを考える」では、社会集団に必要な社会規範について意見を交わし、お互いの考えを深め、自分の意見を伝えることができる。
情報活用能力	学ぶこと・働くことの意義や役割及びその多様性を理解し、幅広く情報を活用して、自己の進路や生き方の選択に生かす。	【情報収集・探索能力】 進路や職業等に関する様々な情報を収集・探索するとともに、必要な情報を選択・活用し、自己の進路や生き方を考えていく能力	「地方の政治と民主主義」では、自分たちの暮らす市のしくみや福祉・財政について、実際に調査しまとめていく。
		【職業理解能力】 様々な体験等を通して、職業生活との関連や、今しなければならないことなどを理解していく能力	「高度経済成長と生活の変化」では、現代社会の経済のしくみや過去からの変化について理解を深めることができる。「社会権」では労働者の権利や生存権について学習し、憲法に定めた人間らしく生きる権利について理解を深める。
将来設計能力	夢や希望を持って将来の生き方や生活を考え、社会の現実を踏まえながら、前向きに自己の将来を設計する。	【役割把握・認識能力】 生活・仕事上の多様な役割や意義及びその関連等を理解し、自己の果たすべき役割等についての認識を深めていく能力	「個人と社会生活」では、家族の役割、地域の役割について紹介し、その集団の中で自分が果たすべき役割について考えることができる。
		【計画実行能力】 目標とすべき将来の生き方や進路を考え、それを実現するために進路計画を立て、実際の選択行動等で実行していく能力	「企業を作ってみよう」では、実際に自分が作ってみたい企業の企画書を作成し、その中で企業に必要な要素、企業の目的、社会に果たすべき役割について考えをまとめる。
意志決定能力	自らの意思と責任でより良い選択・決定を行うとともに、その過程での課題や葛藤に積極的に取り組み克服する。	【選択能力】 様々な選択肢について比較検討したり、葛藤を克服したりして、主体的に判断し自らにふさわしい選択・決定を行っていく能力	「中小企業と大企業」では、それぞれの企業の形態について学ぶ。その上で、それぞれの生き方を選んだ人の話から、それぞれの生き方の価値観について比較検討し、自分だったらどうするか考える。
		【課題解決能力】 意思決定の伴う責任を受け入れ、選択結果に適応するとともに、希望する進路の実現に向けて、自ら課題を設定してその解決に取り組む能力	基本的人権の尊重に基づき、憲法に保障された人権について学ぶ。権利が認められた意義と、それらの権利をいかにして行使し、守っていくべきかということを考えていく。